



**経済産業省**

Ministry of Economy, Trade and Industry

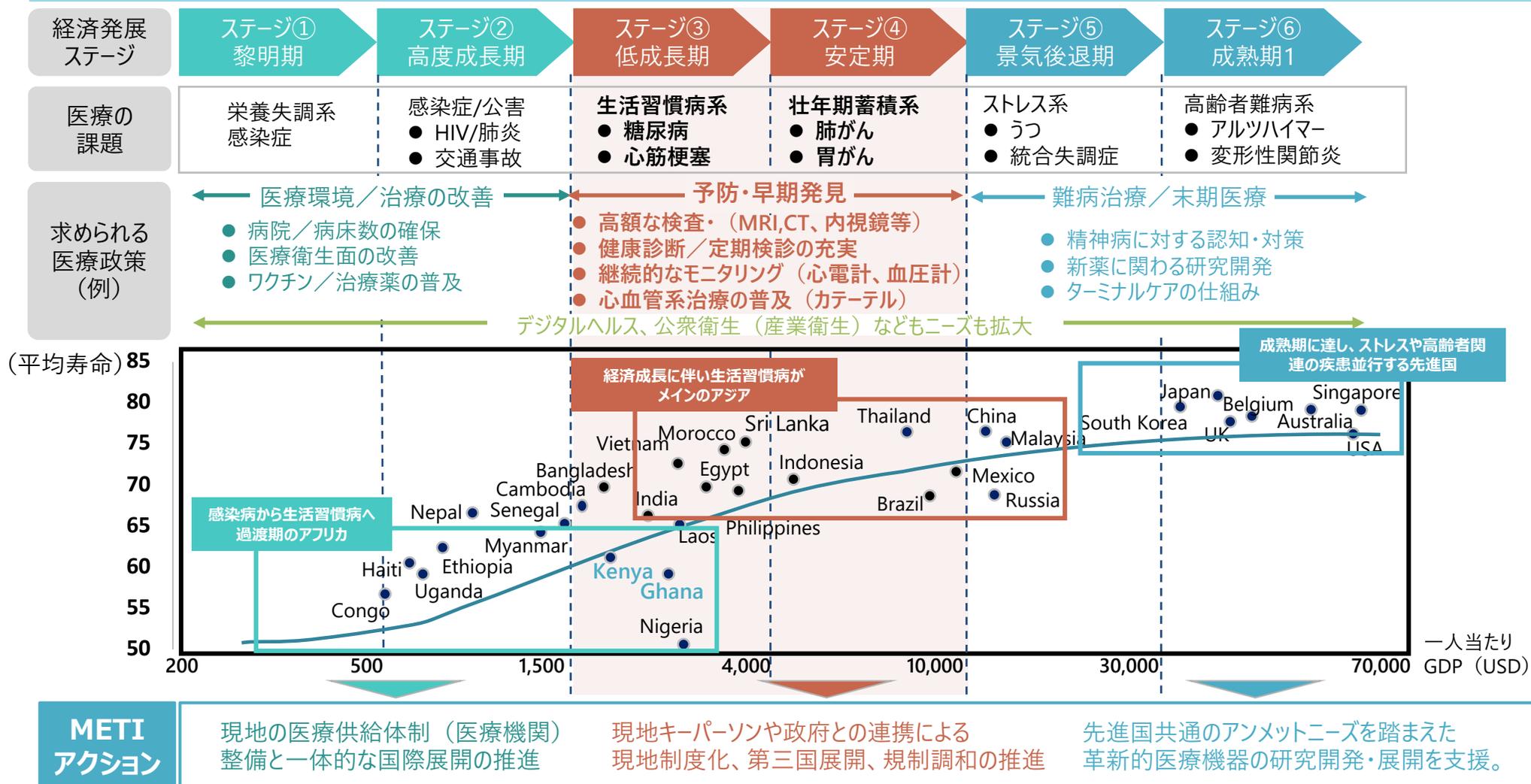
# ヘルスケア産業のASEANへの展開について

**令和5年6月**

**経済産業省 商務・サービスグループ  
ヘルスケア産業課 国際展開推進室**

# 各国の経済発展と医療ニーズの推移

- 経済発展のステージに応じて、疾病構造は変化していく。途上国は感染症が多く、新興国・先進国になるにつれ、生活習慣病やストレス系の疾病が多くなる。
- アジアの疾病構造は、先進国同様、生活習慣病の比率が高まっており、強みを持つ分野の販売拡大を行うとともに、新たな強み分野の開発、展開を図る。

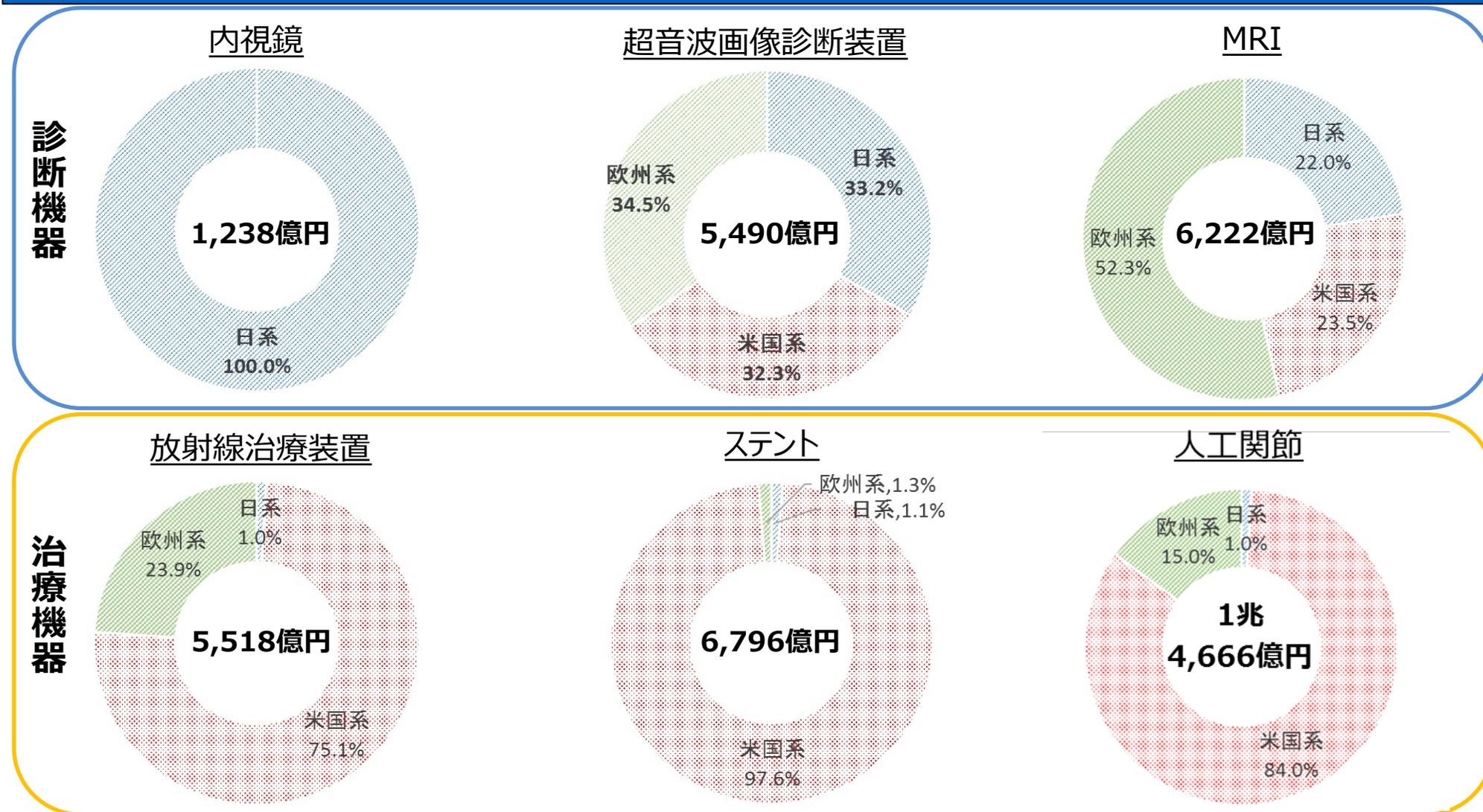


(出所) 平成26年度 医療機器・サービス国際化推進事業「ベトナム・日本式健診センター事業」を基に作成

# 世界における医療機器市場の動向

- 診断機器分野では一定の国際競争力を確保する一方、治療機器分野では国際競争力が弱い。

## 主な医療機器の外資系／日系世界シェア（2018年世界市場規模）



# 海外展開支援（実証調査事業補助金）の概要

- **日本の医療機器・サービス産業への波及効果が高い海外展開事業を支援。**  
例えば、①**人材育成とパッケージ化した医療機器・サービスの効果的な海外展開**、  
②**学会ガイドライン・保険収載**による現地における標準的な診療方法としての確立 を支援
- 支援内容：日本からの専門家派遣費、交渉等に必要な会議費、普及セミナー費 等を補助  
（補助率：大企業1/3、中小企業2/3 ※今年度の支援実績額：約300~2900万円）
- 2010~2022年度の支援実績（事業化）：47件（うち単年黒字達成は22件）

## 経済産業省が支援したプロジェクト（一例）

### 内視鏡外科手術トレーニングセンター設立事業

- ◆ 2015年度事業（オリンパス株式会社）@タイ
- ◆ タイに内視鏡外科手術のトレーニングセンターを開設し、メコン地域の医療従事者の**人材育成**を実施。  
（2019年度までに、累計2000名以上）
- ◆ 本事業によってメコン地域の内視鏡専門医が増加し、日本製内視鏡の販路拡大を図る。



### 救命救急医療センター設立事業

- ◆ 2012年度事業（医療法人社団KNI 北原国際病院）@カンボジア
- ◆ 医療法人社団KNIが、カンボジア王国プノンペン市に救命救急機能を持つ病院を設立。2016年10月開院。



# 経済産業省支援事業により事業化された案件（ASEAN）



青：医療 赤：介護 緑：ヘルスケア

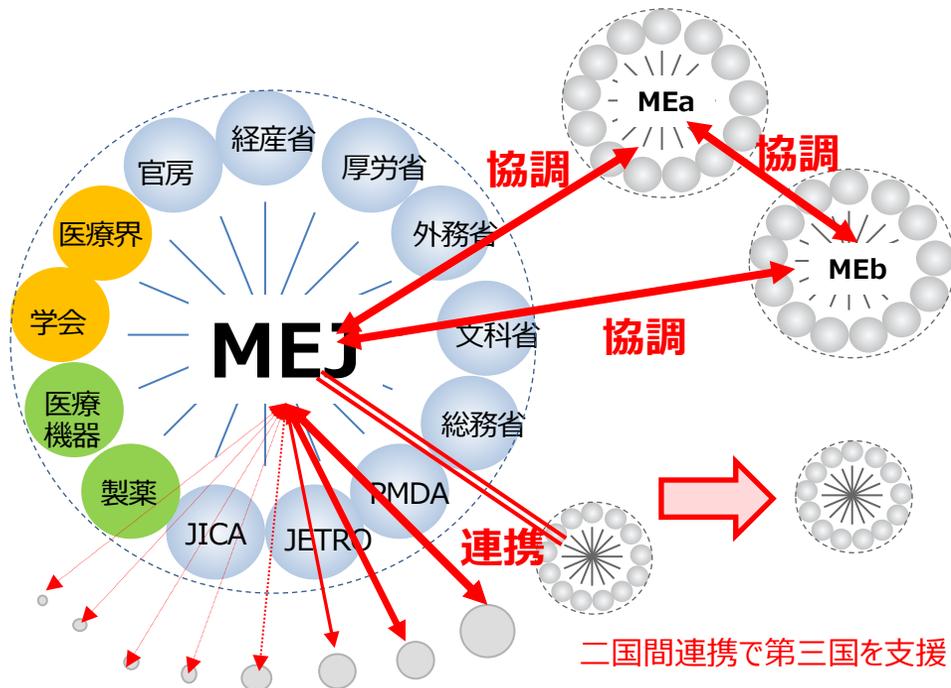
国	事業年度	事業者名	事業内容（●は単年度黒字化）	事業化時期
ミャンマー	H24 (2012)	テルモ	血液バッグ	2016年6月
	H27	GHS	●総合病院CTセンター	2015年9月
	H27	国際医療連携機構	日本式医療技術トレセン	2015年9月
	H29	さくらCS	訪問介護・看護サービス	2018年3月
	H27	GHS	●日本式透析センター	2016年12月
	H30	医療法人靖和会 飯能靖和病院	日本式リハビリトレセン	2018年12月
	H31	埼玉医科大学	日本式リハビリトレセン	2020年7月
フィリピン	H27	富士フィルム	●PACS導入	2016年3月
マレーシア	R2	アルム	モバイル・クラウドを活用した遠隔脳神経センター	2021年3月
カンボジア	H24	医療法人社団KNI	●救命救急医療センター	2016年10月
	H27	結核予防会	日本式健診・検査センター	2020年1月

国	事業年度	事業者名	事業内容（●は単年度黒字化）	事業化時期
インドネシア	H25 (2013)	オリンパス	内視鏡トレセン	2014年9月
	H28	モリタ	歯科研修センター	2017年4月
タイ	H27	オリンパス	メコン内視鏡トレセン	2016年7月
	H30	モリタ	●歯科総合サービス (CAD/CAM, 研修・保守)	2019年4月
	H30	富士フィルム	●医療画像データ統合システム	2019年3月
	H31	富士フィルム	●日本式肝癌サーベイランス・診断	2020年3月
	R2	東海機器工業	洗浄・消毒サービス	2019年10月
	R2	羽立工業	自立体カププログラム	2021年3月
	R2	松永製作所	ヘルスケア産業拡大・進出	2020年9月
ベトナム	H25	富士フィルム 名古屋大学	●内視鏡トレセン	2014年3月
	H26	医療法人葵鐘会	●周産期医療センター	2020年7月
	H27	国際医療福祉大学	●人間ドックセンター	2018年9月
	H27	シード	コンタクトレンズ	2019年1月
	H28	富士フィルム	●放射線科ICT化拠点	2017年3月
	H29	メディヴァ	クリニック	2019年2月

# 現地キーパーソンとの連携強化に向けた拠点設立（MExx構想の推進）

- 日本の医療機器を現地に定着させるためには、現地医学会によるガイドラインの整備や保険収載等を図っていくことが必要であるが、個社単体でのネットワーク形成には限界。
- そのため、国際機関（ERIA）と連携し、産官学医連携機関であるMedical Excellence Japan（MEJ）と同様な組織を各国に整備することで、キーパーソンとの連携強化、現地医療水準の向上に向けた制度整備への貢献などを図る（＝MExx構想の推進）
- 来年度以降は、特に以下の取組を重点的に実施。
  - ・ベトナム（昨年7月に第一か国目として拠点整備済み）におけるキーパーソンとのネットワーク形成、制度整備に向けた重点領域特定。
  - ・第二か国目（インド）設立、第三か国目の設立準備、加えてMExx設立国から第三国への展開

## MExx構想のイメージ



## MExx構想による施策効果

- ① **ネットワーク形成**：販売代理店等のパートナーや医療機関・医師等のキーパーソンとの効率的なマッチング
- ② **現地情報収集**：現地医療ニーズ、産業動向や規制の把握
- ③ **制度整備**：規制緩和や保険収載等の事業環境整備の働きかけの実施

相手国の実情に応じた、  
**日本式医療（機器や健診等）の展開（アウトバウンド）**  
**医療渡航患者の呼び込み（インバウンド）の実現**